Panasonic®

パーソナルPAシステム
取扱説明書

品番 RX-PA7

もくじ

付属品

□電源コード（1本）
（品番：SJA161A-1）
買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。

このたびは、パーソナルPAシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

上手に使って上手に節電

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

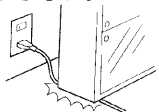
■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

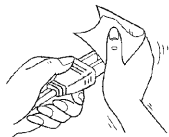
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

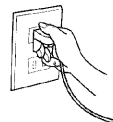
⚠警告

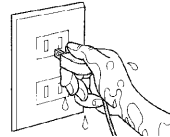
電源コードについて

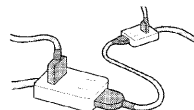
電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。）

●傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

●プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

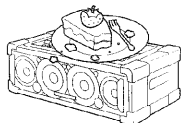
電源プラグは根元まで確実に差し込む

●差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

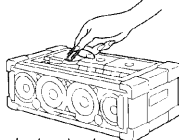
ぬれた手で、プラグの抜き差しはしない

●感電の原因になります。

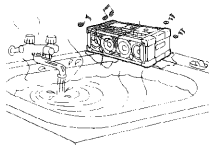
コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない

●たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

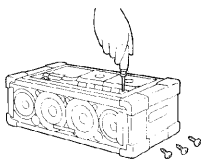
⚠ 警告

ご使用について

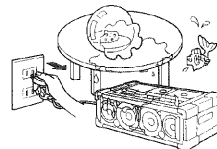
機器の上にものを載せない

●開閉時に、ものが内部に入り込み、感電、火災の原因になります。

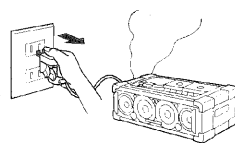
機器内部に金属物を入れない

●感電の原因になります。
●特にお子さまにはご注意ください。

水をかけたり濡らしたりしない

水場使用禁止
●機器が故障したり、ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
●水が入ったときは、電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。
●雨天、降雪中、海岸や水辺での使用は、特にご注意ください。

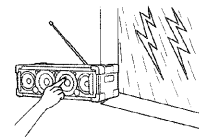
分解、改造したりしない

分解禁止
●内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
●内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

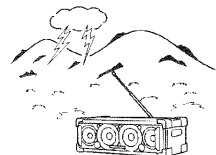
もし、異常が起こったら

機器内部に金属や水、異物が入ったら、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く
●そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
●販売店にご相談ください。

煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く
●そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
●販売店にご相談ください。

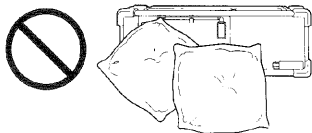
雷について

雷が鳴ったらアンテナや機器に触れない

接触禁止
●感電の恐れがあります。

雷が鳴ったら、屋外で使わない

●落雷の恐れがあります。
●使用しているときは、すぐに機器から離れてください。

⚠注意

設置・接続について

放熱を妨げない

●内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。本機後面の放熱孔をふさがないよう、ご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

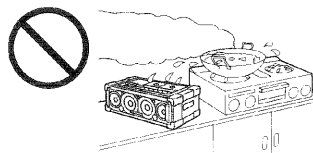
●機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
●夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

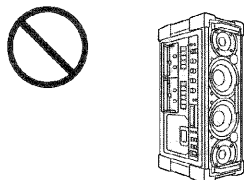
接続前に接続先のすべての電源を「切」にしておく

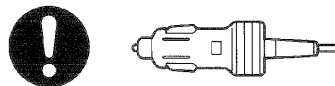
●電源の入った状態で接続すると、突然大きな音が出て聴力障害の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

●機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

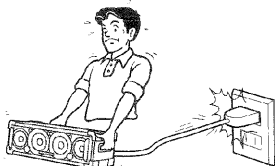
油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

●電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

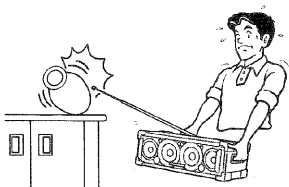
本機を縦向きにして使用しない

●転倒して、けがや破損の原因になることがあります。また、本機が正常に機能しない恐れがあります。

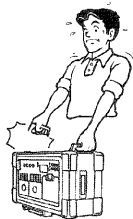
カー電源アダプターとバッテリーパックは推奨品を使用する

●推奨品以外のカー電源アダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

●接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
●また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

アンテナをのばしたまま持ち運ばない

●アンテナにものが引っかかったり、当たったりして､けがの原因になることがあります。

スピーカーのプロテクターを持って運ばない

●機器の重さでプロテクターがはずれ、落下してけがや破損の原因になります。

ご使用について

ひび割れ、変形したディスクは使わない

●高速回転しますので、飛び散ってけがの原因になることがあります。
●接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので使用しないでください。

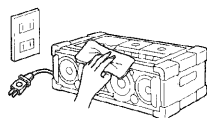
ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

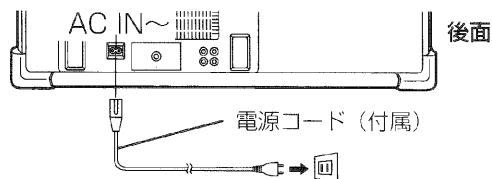
●耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

機器にのらない

●倒れたりして、けがの原因になることがあります。
●特に小さいお子さまにはご注意ください。

お手入れについて

お手入れの前には、電源プラグを抜く

●入れたままにしておくと、感電の原因になります。

電源の準備

家庭用コンセントで使う

家庭用コンセント（AC100V 50/60Hz）

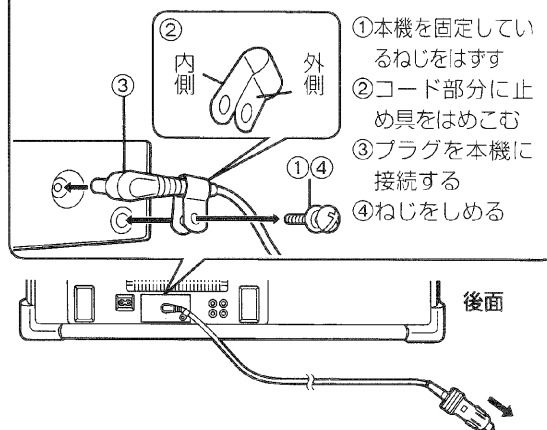
- カー電源アダプターは抜いておいてください。
- 電源コードを抜くときは、故障を避けるために、［POWER］を押して電源を切ってください。

長期間使用しないときは

節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
ただし、再使用時には、放送局の設定など、各種メモリーの再設定が必要です。（電源スイッチを切った状態でも、約6.9Wの電力を消費しています。）

カー電源またはバッテリーパック（別売り）で使う

別売りのカー電源アダプター（推奨品：RP-AK120、長さ5m、別売り）と接続して、自動車の電源または、バッテリーパック（推奨品：BQ-100、別売り）から使うことができます。（BQ-100を使用すると、フル充電で約2時間の使用ができます。）
詳しくは、カー電源アダプターの取扱説明書をご覧ください。

使用中にカー電源アダプターのプラグが抜けないように止め具とねじで本機に固定してください。

車のシガレットライター、またはバッテリーパックのソケットへ

お知らせ

エンジンをかけずに自動車の電源に接続して続けて使うときは、バッテリーが上がることがあるのでご注意ください。

各部のなまえ

●黒丸の数字は主な参照ページを表します。

① CD トレイ

② TUNE MODE（ラジオ選局モード選択）ボタン ❾

③ ≜ CD OPEN（CD トレイふた開け）ボタン ⓫

④ CD PLAY MODE（CD演奏切り換え）ボタン ⓭⓮

⑤ A-B REPEAT（A-B リピート）ボタン ⓭

⑥ MEMORY（CD予約、ラジオ番組予約）ボタン ❽⓬

⑦ ▶/❚❚（CD演奏／一時停止）ボタン ⓫～⓯

次のボタンは動作状態によって働きが変わります。

⑧ ■/CLEAR FM MODE/ B P ボタン

- ●CD演奏時：
  - CDの停止 ⓫
  - CD演奏予約の解除 ⓬⓭
- ●ラジオ受信時：
  - FM放送のステレオ・モノラルの切り換え ❾
  - AMビートプルーフ ⓱

⑨ －/|◀◀、＋/▶▶| ボタン

- ●CD演奏時：
  - 選曲、早送り、早戻し ⓫
- ●ラジオ受信時：
  - ラジオ選局 ❽❾

⑩ ●REC（テープ録音）ボタン⓯～⓴、㉒
⑪ ▶ PLAY（テープ再生）ボタン❿
⑫ ◀◀ REW/REV（巻き戻し／くり返し）ボタン❿
⑬ ▶▶FF/CUE（早送り／頭出し）ボタン❿
⑭ ■/▲ STOP/EJECT（停止／取り出し）ボタン❿⓯～⓱
⑮ ❚❚ PAUSE（テープ一時停止）ボタン❿
⑯ DECK1（デッキ1）
デッキ2操作部
（⑪～⑮と同じ働きをします。）
⑰ DECK2（デッキ2）
⑱ INPUT（ギター・キーボード接続）端子⓳
⑲ MIX MIC/BASS GUITAR（マイク・ベースギター接続）端子⓲
⑳ Ω（ヘッドホン接続）端子⓴
㉑ SELECTOR（電子楽器入力モード選択）スイッチ⓳
㉒ MIC BASS GUITAR（マイク、ベースギター音量調整）つまみ⓲
㉓ TREBLE（高音部調整）つまみ❾❿⓫⓲⓳
㉔ BASS（低音部調整）つまみ❾❿⓫⓲⓳
㉕ VOLUME（音量調整）つまみ❾❿⓫⓲⓳
㉖ SLEEP（おやすみタイマー）ボタン⓱
㉗ SELECTOR（CD・TAPE・FM/AM・AUX）選択ボタン❽～⓫⓴
㉘ POWER（電源）ボタン❽

放送局を記憶させる

本機は放送局を記憶させることができます。記憶させておくと、次から簡単に選局できます。
FM、AMを別々に記憶させてください。(各10局まで)

1 [POWER] を押す 電源が入ります。

2 [FM/ AM] を押して、バンドを選ぶ
押すたびに： FM ⟷ AM
TV音声（1～3ch）を聞くときは、FMを選びます。

3 [MEMORY] を押す

4 [−/ ⏮]、[+/ ⏭] を押して、放送局を選ぶ
TV音声1～3chの受信位置
95.7MHz - TV1ch - 95.8MHz
101.7MHz - TV2ch - 101.8MHz
107.7MHz - TV3ch - 107.8MHz

5 [MEMORY] を押す

6 [−/ ⏮]、[+/ ⏭]を押して、プリセットチャンネルを選ぶ

7 [MEMORY] を押す

8 3 ～7 をくり返す

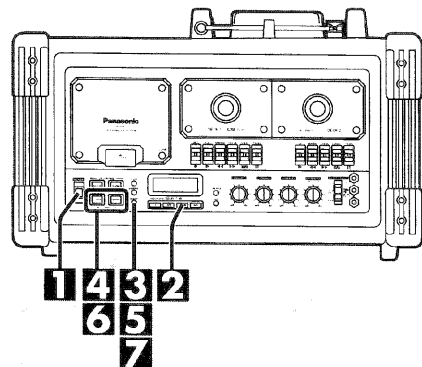
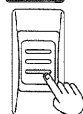
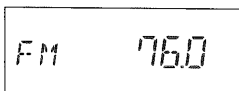
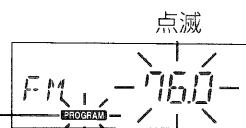
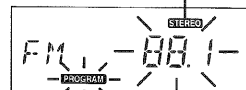
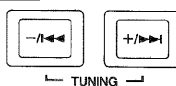
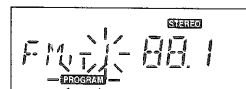
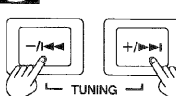
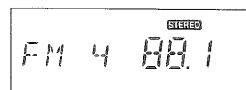
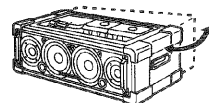
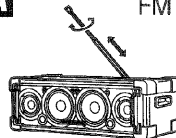
記憶の保持について
電源コードを抜いた状態で、約1週間保持されます。

本機のTV受信回路について
FM受信回路と兼用しているため、2または3チャンネルにFMが混信することがあります。

不要なプリセット番号を消すには

① 不要なプリセットチャンネルを選局する（9ページ）
② [MEMORY] を2回押す（“PROGRAM” が点滅）
③ “PROGRAM” の点滅中に、プリセットチャンネル表示が “−−” になるまで [+/⏭] を何度も押す
④ [MEMORY] を押す
次から選局するときは、消されたプリセットチャンネルをとばして選局できます。

アンテナを調整するには A

FM：ホイップアンテナの長さと向きを調整する
AM：本体の向きを調整する

1
2
3
4 FMステレオ放送受信時点灯 STEREO
5
6 プリセットチャンネル点滅
7
A

ラジオを聞く

1 [POWER] を押す 電源が入ります。

2 [FM/ AM] を押してバンドを選ぶ
押すたびに： FM ←→ AM

3 [TUNE MODE] を押して、選局方法を選ぶ
押すたびに： PRESET ←→消灯
放送局を
●記憶させたとき："PRESET"（プリセット選局）
●記憶させていないとき：消灯（マニュアル選局）

4 [−/|◀◀] または [+/▶▶|] を押して、放送局を選ぶ

5 音量、音質を調整する
[VOLUME] ：音量
[BASS] ：低音部
[TREBLE] ：高音部

自動選局するには（オートチューニング）

放送局を記憶させていないときの、簡単な選局方法です。
[−/|◀◀] または [+/▶▶|] を押し続け、周波数が動き始めたら指を離す。
最初に受信した放送局で周波数が自動停止します。

お知らせ

周囲に妨害電波があると、放送局を受信せずに周波数が停止することがあります。

自動選局を止めるには

もう一度 [−/|◀◀] または [+/▶▶|] を押す

FMステレオ放送で雑音が多いときは A

音声をモノラルにして雑音を少なくします。

[FM MODE/BP] を押して、"MONO" を点灯させる。

モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。

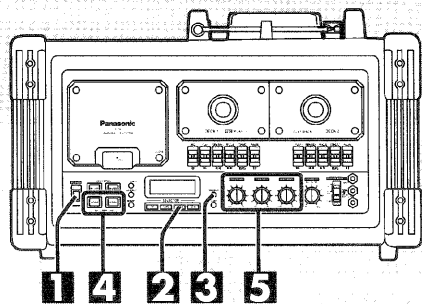
通常は "MONO" を消しておいてください。ステレオ放送はステレオで、モノラル放送はモノラルで聞くことができます。

お知らせ

乗り物や建物の中では、電波が弱まり聞こえにくいことがあります。できるだけ窓際でお聞きください。

1

2

FM 76.0

3 放送局を記憶させたとき点灯 PRESET
TUNE MODE
PRESET
FM 4 88.1

4

5

A

演奏

テープを聞く

再生できるテープ

本機では、ハイポジション、メタルポジションのテープの特性を活かすことができません。

Nomal position/ TYPE I	○
High position/ TYPE II	×
Metal position/ TYPE IV	×

デッキ1、2のどちらでも再生できます。

1 **[POWER] を押す** 電源が入ります。

2 **[TAPE] を押す** テープに切り換わります。

3 **[■/▲ STOP/EJECT] を押してカセットふたを開け、テープを入れる。**
カセットふたを手で閉めます。

4 **[▶ PLAY] を押す**
再生が始まります。

5 **音量、音質を調整する**
[VOLUME] ：音量
[BASS] ：低音部
[TREBLE] ：高音部

再生を止めるには

[■/▲ STOP/EJECT] を押す。

フルオートストップ機能について

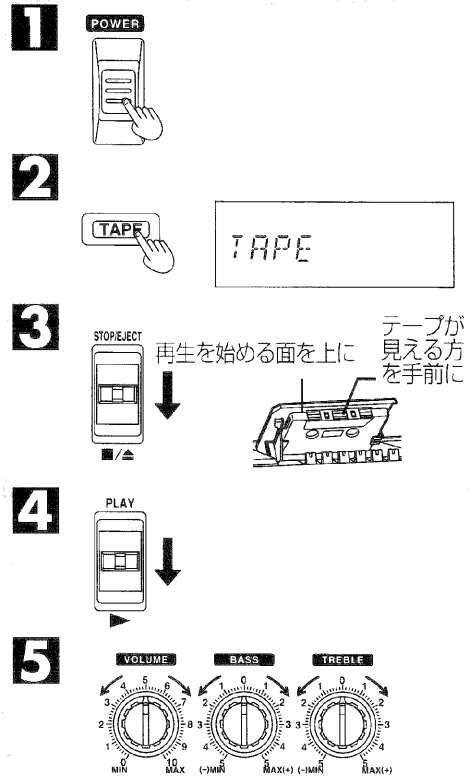
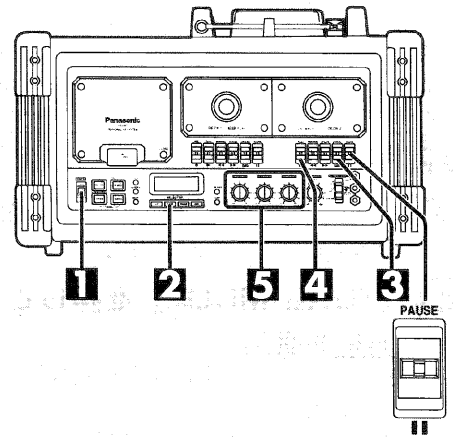
再生・録音中または早送り・巻き戻し中、テープ終端に来ると自動的に停止します。

早送り・巻戻しをする	
[◀◀] ・ [▶▶]	停止中に押す。
聞きたいところを探す	
[◀◀] ・ [▶▶]	再生中に押す。
一時停止する	
[❚❚]	再生中に押す。再び再生するにはもう一度押す

お願い

早送り・巻き戻し中に [▶ PLAY] を押さないでください。テープが回転部に巻き込まれる恐れがあります。
必ず [■/▲ STOP/EJECT] を押して早送り・巻戻しを止めてから [▶ PLAY] を押してください。

2本のテープを続けて聞くには

（デッキ2の片面→デッキ1の片面）
1. デッキ2の再生を始める
2. デッキ1の [❚❚ PAUSE] と [▶ PLAY] を押しておく。

CDを聞く

1 [POWER] を押す
電源が入ります。

2 [CD] を押す
CDに切り換わります。

3 CDふたを開け、CDを入れる

4 CDふたを閉める

5 [▶/❚❚] を押す
演奏が始まります。
最終曲まで演奏して自動的に停止します。

6 音量、音質を調整する
[VOLUME]　：音量
[BASS]　：低音部
[TREBLE]　：高音部

演奏を止めるには

[■/CLEAR] を押す。

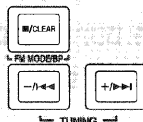
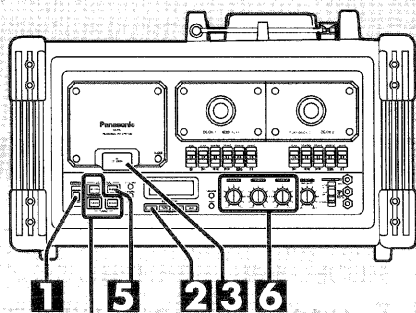
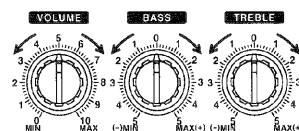
曲を飛び越すには（スキップ）	
[−/⏮]・[+/⏭]	飛び越す回数だけポンポンと押す。
早送り、早戻しをする（サーチ）	
[−/⏮]・[+/⏭]	演奏中または一時停止中に長押しする。
一時停止する	
[▶/❚❚]	演奏中に押す。再び演奏するには、もう一度押す。

お願い

- 演奏中に [CD OPEN] を押さないでください。CDに傷が付くおそれがあります。
- 他の機器（ラジオ・TVなど）に雑音が入ったら、できるだけ本機を他の機器から離してご使用ください。

お知らせ

本機は、プログラム演奏（12ページ）、リピート演奏（13ページ）、ランダム演奏（14ページ）などの演奏モードがありますが、以下のようなときは、それらの演奏モードは解除されます。

- 電源コードを抜いたとき
- [CD OPEN] を押してCDトレイを開いたとき

演奏

CDを聞く

好みの曲を予約順に聞く（プログラム演奏）

最大24曲まで予約できます。

準備：“RANDOM”が点灯していたら、［CD PLAY MODE］を押して表示を消してください。

1 **［−/⏮］、［+/⏭］を押して、予約したい曲番を表示させる**

2 **［MEMORY］を押す**

3 **1、2をくり返して、続けて予約する**

4 **［▶/❚❚］を押す**

予約順に演奏し、自動的に停止します。

プログラムの内容を取り消すには

停止中に［■/CLEAR］を押す A

“CLR”を表示し、予約曲がすべて取り消されます。

“−−：−−”と表示されたら

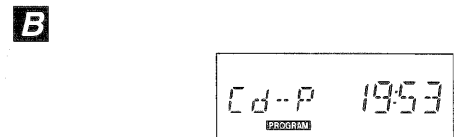
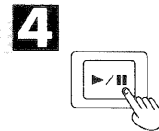
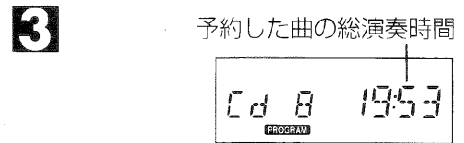
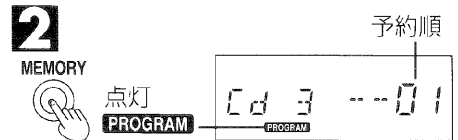
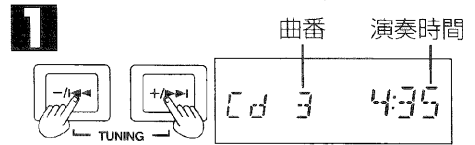
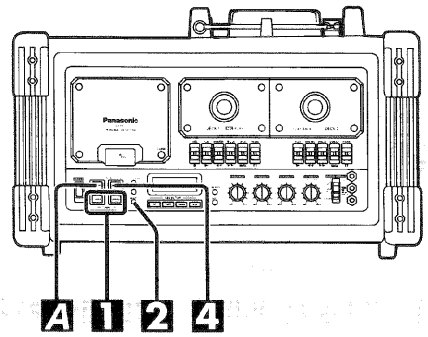
予約曲の合計演奏時間が120分を超えました。
ただし、予約や演奏はできます。

“FULL”と表示されたら

すでに24曲予約されています。これ以上予約できません。

予約内容の記憶について B

演奏が終了すると、右図のような表示が点灯し、予約内容が記憶されていることを表します。
この状態で、以下のことができます。

- ［▶/❚❚］を押して、予約した順に演奏する
- ［−/⏮］、［+/⏭］を押して、予約内容を確認する（押すたびに、曲番と演奏順が表示されます。）

CDを聞く

演奏をくり返す（リピート）

［CD PLAY MODE］を押して、

A "1-↻"（一曲をくり返すとき）または、
B "ALL-↻"（全曲をくり返すとき）を点灯させる

押すたびに：1-↻ → ALL-↻ → RANDOM
↑――― 消灯 ←―――┘

好みの曲を選んでくり返す

1. 12ページの手順1〜3で好みの曲を予約する
2. ［CD PLAY MODE］を押して、"ALL-↻"を点灯させる
3. ［▶/❚❚］を押して演奏を始める

解除するには

"1-↻"または"ALL-↻"表示が消えるまで［CD PLAY MODE］をポンポンと押す。

聞きたい部分をくり返す（A-Bリピート） C

1 演奏中に、リピートを始めたいところ（A点）で、［A-B REPEAT］を押す

2 リピートを終えたいところ（B点）で、［A-B REPEAT］を押す

解除するには

［A-B REPEAT］を押して"A ↻ B"表示を消す。

次のようなときもA-Bリピートは取り消されます。

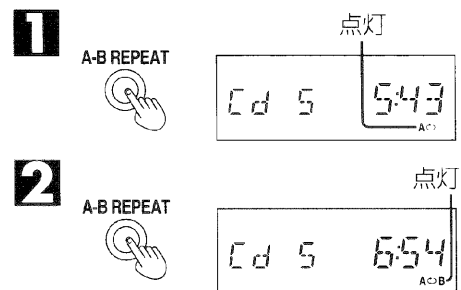
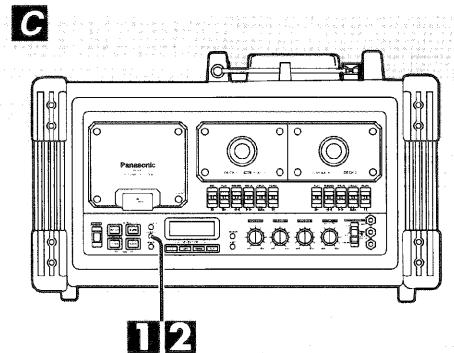
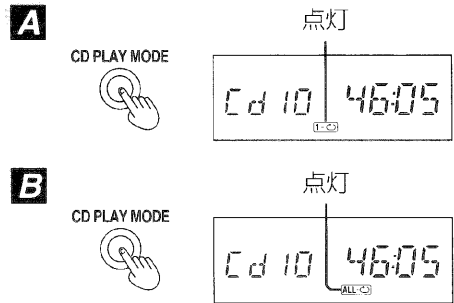
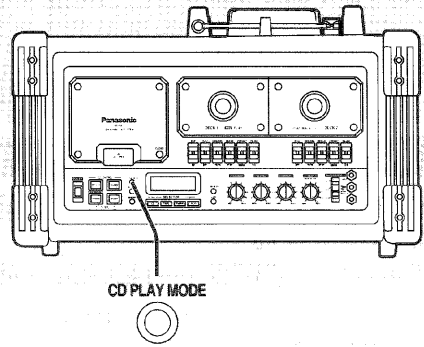
- ［■/CLEAR］を押したとき
- ［−/⏮］、［+/⏭］をポンポンと押したとき

お知らせ

- プログラム演奏・ランダム演奏中は、A-Bリピート演奏はできません。
- リピート演奏中に［A-B REPEAT］を押すと、A-Bリピート演奏に切り換わります。
（ただし、A-Bリピートを解除すると、リピート演奏に戻ります。）

演奏

演奏

録音

CDを聞く

順不同に聞く（ランダム演奏）

1. [CD PLAY MODE] を押して“RANDOM”を点灯させる A
   押すたびに：1-⟲ → ALL-⟲ → RANDOM
   ↑―――― 消灯 ←――――┘
2. [▶/❚❚] を押す
   順不同に全曲を演奏して自動的に停止します。

解除するには

[CD PLAY MODE] を押して、“RANDOM”を消す。

お知らせ

- 好みの曲だけを選んでランダム演奏することはできません。
- ランダム演奏中は、[－/⏮] を押してスキップできません。

A

録音の前に

録音できるテープ

Nomal position/ TYPE I	○
High position/ TYPE II	×
Metal position/ TYPE IV	×

本機では、ハイポジション、メタルポジションのテープを使うと、正しく録音・消去されません。

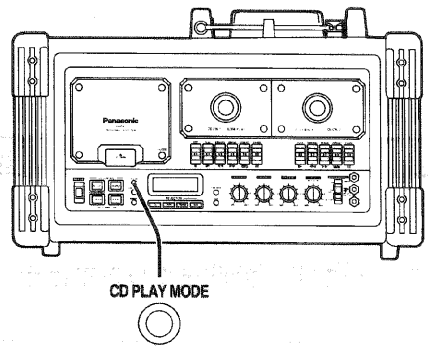
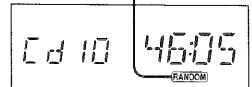
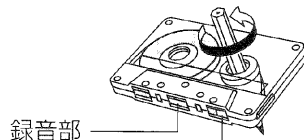
テープのはじめから録音するとき B

録音できないリーダーテープ部を送り出して、録音がすぐ開始できるようにしておきます。

お知らせ

- 録音レベルは自動的に設定されます。
- 録音中に音量や音質を変えても録音されるテープには影響しません。
- 録音中に、本機とテレビを近づけると、テレビから出る電波の影響で雑音が録音されることがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

B

CDを録音する（デッキ１のみ）

ノーマルポジションのテープが使えます。
準備：●電源を入れる。
　　　●CDを入れる（11ページ）

1 **［CD］を押す**
CDに切り換わります。

2 **デッキ１のカセットふたを開け、テープを入れる**（10ページ）

3 **［● REC］を押す**
［▶ PLAY］も押し込まれ、録音が始まります。

4 **［▶/❚❚］を押す**
CDの演奏が始まります。

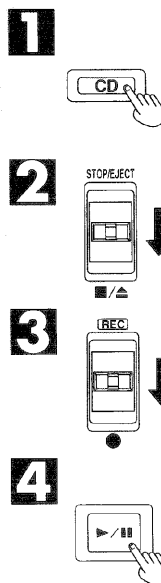
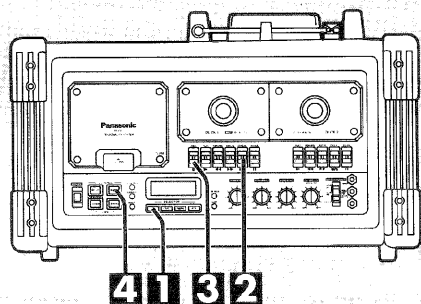
録音を止めるには
デッキ１の［■/⏏ STOP/EJECT］を押す。
（CDは止まりません。）

録音を一時停止するには
デッキ１の［❚❚ PAUSE］を押す。
（CDは止まりません）
録音を再開するには、もう一度押す。

CDの演奏が先に終わると
CDは止まり、テープは録音を続けますので、デッキ１の［■/⏏ STOP/EJECT］を押してテープを止めてください。

テープの録音が先に終わると
録音は止まり、CDは演奏を続けます。
［■/CLEAR］を押して、CDを止めてください。

続けて裏面に録音するときは
1.［+/▶▶|］を押して、途切れた曲の頭出しをする
2. テープを裏返してから、上記手順**3**、**4**をする

録音

テープからテープへ録音する
（テープダビング）

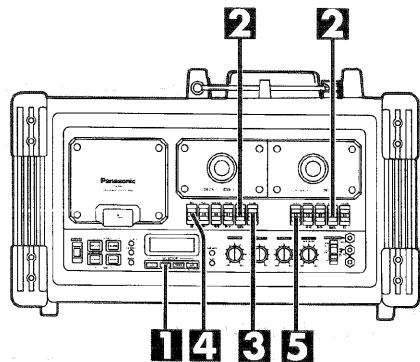
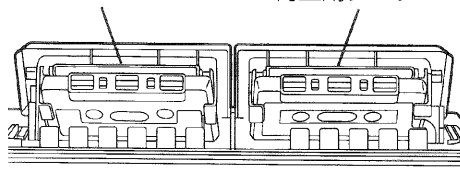
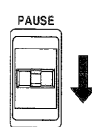
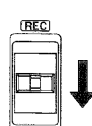
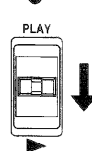
ノーマルポジションのテープが使えます。
準備：電源を入れる。

1 **[TAPE] を押す**
テープに切り換わります。

2 **両方のデッキにテープを入れる（10ページ）**
録音用：デッキ1
再生用：デッキ2

3 **デッキ1の [❚❚ PAUSE] を押す**

4 **[● REC] を押す**
[▶ PLAY] も押し込まれます。

5 **デッキ2の [▶ PLAY] を押す**
デッキ2の再生とデッキ1の録音が同時に始まります。（シンクロスタート）

録音を止めるには
デッキ1の [■/▲ STOP/EJECT] を押す。
（デッキ2は止まりません。）

録音を一時停止するには
デッキ1の [❚❚ PAUSE] を押す。
（デッキ2は止まりません。）
録音を再開するには、もう一度押す。

再生用テープのおもて面が先に終わると
デッキ2は止まり、デッキ1は録音を続けます。
デッキ1の [■/▲ STOP/EJECT] を押して、デッキ1を止めてください。

再生用テープの裏面を続けて録音するときは
デッキ2のテープを裏返してから、上記手順3～5をしてください。

録音用テープのおもて面が先に終わると
デッキ1は止まり、デッキ2は再生を続けます。
デッキ2の [■/▲ STOP/EJECT] を押して、デッキ2を止めてください。

録音用テープの裏面に続けて録音するときは
デッキ1のテープを裏返してから、上記手順3～5をしてください。

ラジオ放送を録音する
(デッキ1のみ)

ノーマルポジションのテープが使えます。
準備：電源を入れる

1. **[FM/AM] を押して、バンドを選ぶ**
2. **デッキ1のカセットふたを開け、テープを入れる（10ページ）**
3. **放送局を選ぶ（8、9ページ）**
4. **[● REC] を押す**
   [▶ PLAY] も押し込まれます。
   録音が始まります。

録音を止めるには
[■/⏏ STOP/EJECT] を押す。

録音を一時停止するには
[❚❚ PAUSE] を押す。
録音を再開するには、もう一度押す。

AM放送録音時、雑音を少なくするには
[FM MODE/BP] を押す。
押すたびに： bP 1 ⟷ bP 2
雑音の少なくなる方にしてください

おやすみタイマーを使う

電源が切れるまでの時間を最大2時間まで設定できます。

[SLEEP] を押して、好みの時間を4種類の中から選ぶ A

押すたびに：30 → 60 → 90 → 120（単位：分）
↑── OFF（解除）──┘

設定した時間が過ぎると電源が切れます。

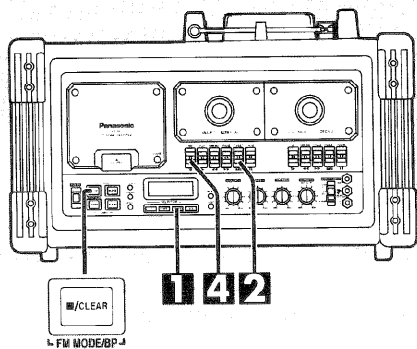
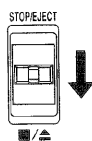
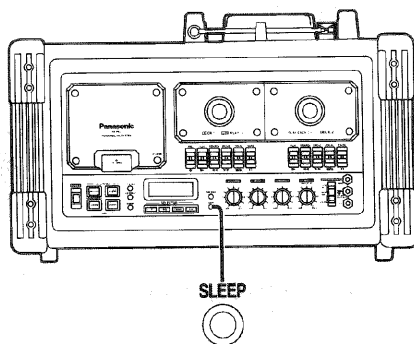
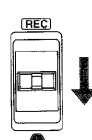
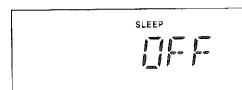
A

B

解除するには
[SLEEP] をポンポンと押して、“OFF” を表示させる。 B

動作中に残り時間を確かめるには
[SLEEP] を押す

残り時間を変えるには
[SLEEP] を押し、残り時間を表示している間に、好みの時間になるまで [SLEEP] をポンポンと押す。

録音
タイマー

マイクを使う A

準備：電源を入れ、[CD] を押す。

マイクを接続する

プラグタイプ：モノラルM6（使用時は、端子のキャップをはずしてください。）

推奨品：RP-VK25・RP-VK45（別売り）（RP-VK25・RP-VK45をご使用になるときは、マイクに付属のプラグアダプターをお使い下さい。）

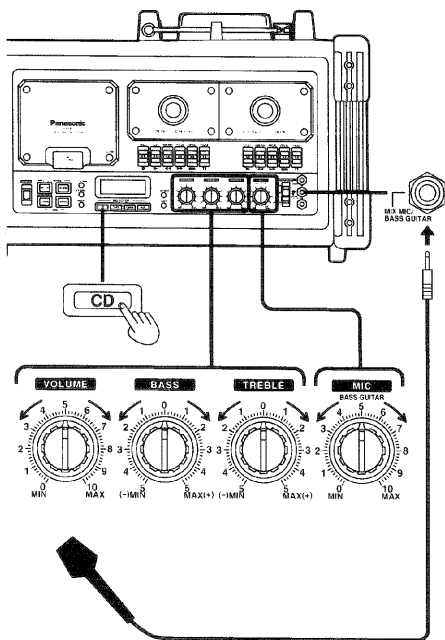
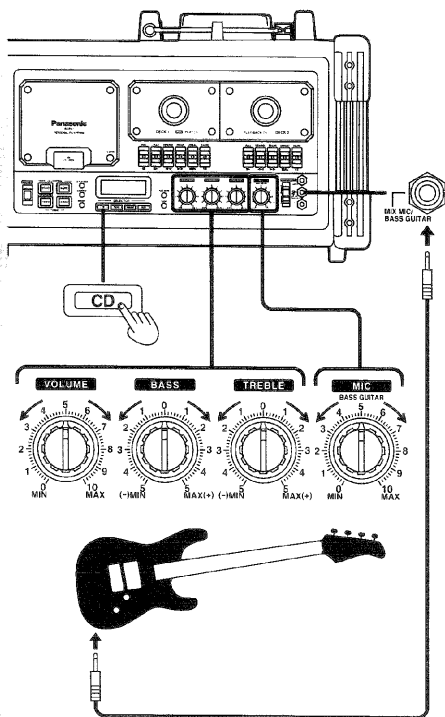
本機を拡声器として使う

1. マイクに向かって音声を出す
2. 本機の音量・音質を調整したあと、[MIC BASS GUITAR] でマイクの音量を調整する

マイクから録音する

1. デッキ1にテープを入れる
2. デッキ1の [● REC] を押す
   [▶ PLAY] も押し込まれ、録音が始まります。
3. マイクに向かって音声を出す

お願い

マイクを使用中にハウリング（ピーという音）が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、マイクボリュームや本体の音量を下げてください。

ベースギターを使う B

準備：電源を入れ、[CD] を押す。

ベースギターを接続する

プラグタイプ：モノラルM6（使用時は、端子のキャップをはずしてください。）

本機をアンプとして使う

1. ベースギターを演奏する
2. 本機の音量・音質を調整した後、[MIC BASS GUITAR] でベースギターの音量を調整する

ベースギターの音を録音する

1. デッキ1にテープを入れる
2. [● REC] を押す
   [▶ PLAY] も押し込まれ、録音が始まります。
3. ベースギターを演奏する

エレキギター・キーボードを使う

準備：電源を入れる

エレキギター・キーボードを接続する A

プラグタイプ：モノラルM6（使用時には端子のキャップをはずしてください。）

お知らせ

キーボードは、機種によっては本機の外部入力端子（AUX IN）に接続して使えるものもあります。

本機をアンプとして使う B

1 [SELECTOR] で、演奏モードを選ぶ

GUITAR DIST：エレキギターを、ディストーションの音で演奏できます
GUITAR NOR：エレキギターを、弾いたままの音で演奏できます
KEYBOARD：キーボードの演奏ができます

2 [CD] を押す

3 音量、音質を調整する

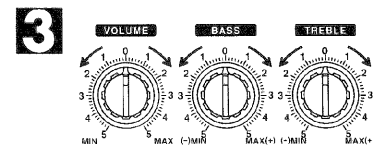
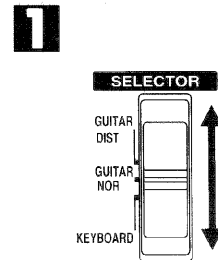
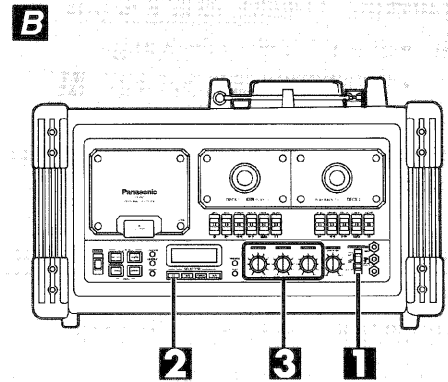
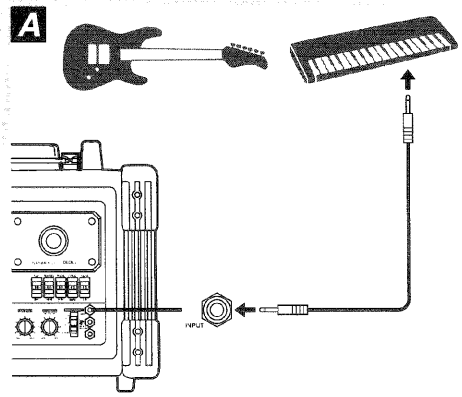
[VOLUME]　：音量
[BASS]　：低音部
[TREBLE]　：高音部

4 エレキギター・キーボードを演奏する

お知らせ

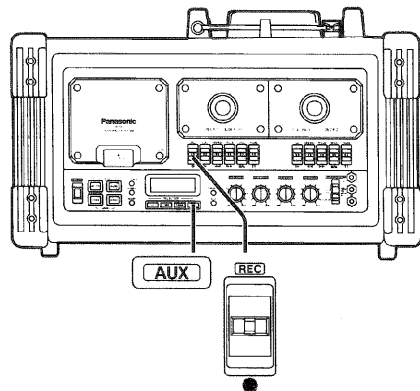
- 演奏モードが正しく設定されていなければ、それぞれの楽器の特性を活かした演奏ができません。
- 本機のディストーションの音色は、1種類だけです。好みの音色に変えたいときは、演奏モードをGUITAR NORに合わせて、市販のエフェクターを使用して音色を変えてください。

エレキギター・キーボードの音を録音する

1. デッキ1にテープを入れる
2. デッキ1の [● REC] を押す
   [▶ PLAY] も押し込まれます。
3. エレキギター（またはキーボード）を演奏する

他の機器と組み合わせる

接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
準備： 電源を入れる

他の機器を本機で聞くには

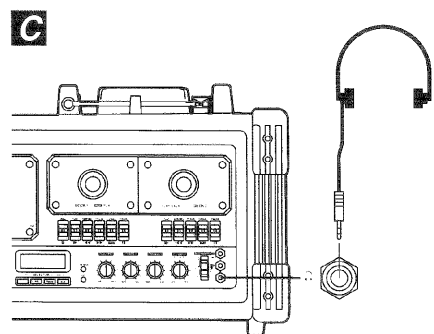
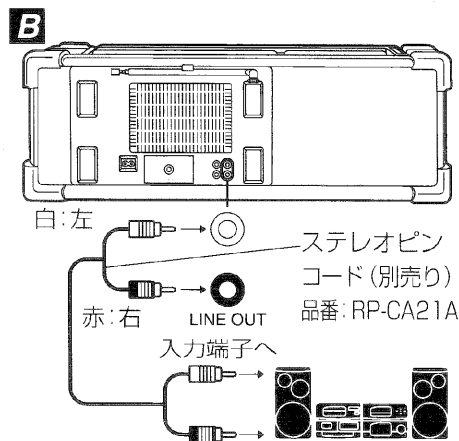
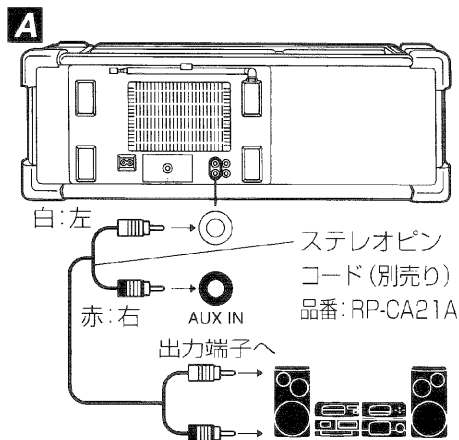
準備：他の機器を本機に接続する A
1 ［AUX］を押す
2 外部機器の演奏を始める

外部機器から本機に録音するには

準備：●デッキ1にテープを入れる
●他の機器を本機に接続する A
1 ［AUX］を押す
2 デッキ1の［● REC］を押して録音を始める
3 外部機器の演奏を始める

本機の音を他の機器で録音・演奏する

準備：他の機器を本機に接続する B
1 他の機器を、外部入力モードにする
2 （録音の場合のみ）他の機器で録音を始める
3 本機の演奏をはじめる

A

B

ヘッドホンで聞く C

●接続するときは、音量を下げてください。
●耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことはさけてください。

プラグタイプ： ステレオ M6 （使用時には端子のキャップをはずしてください。）
推奨品：RP-HT300、RP-DJ1200（別売り）
（RP-HT300や、RP-DJ1200をご使用になるときは、ヘッドホンに付属のプラグアダプターをお使い下さい。）

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

C

その他の機能

ミキシングをする

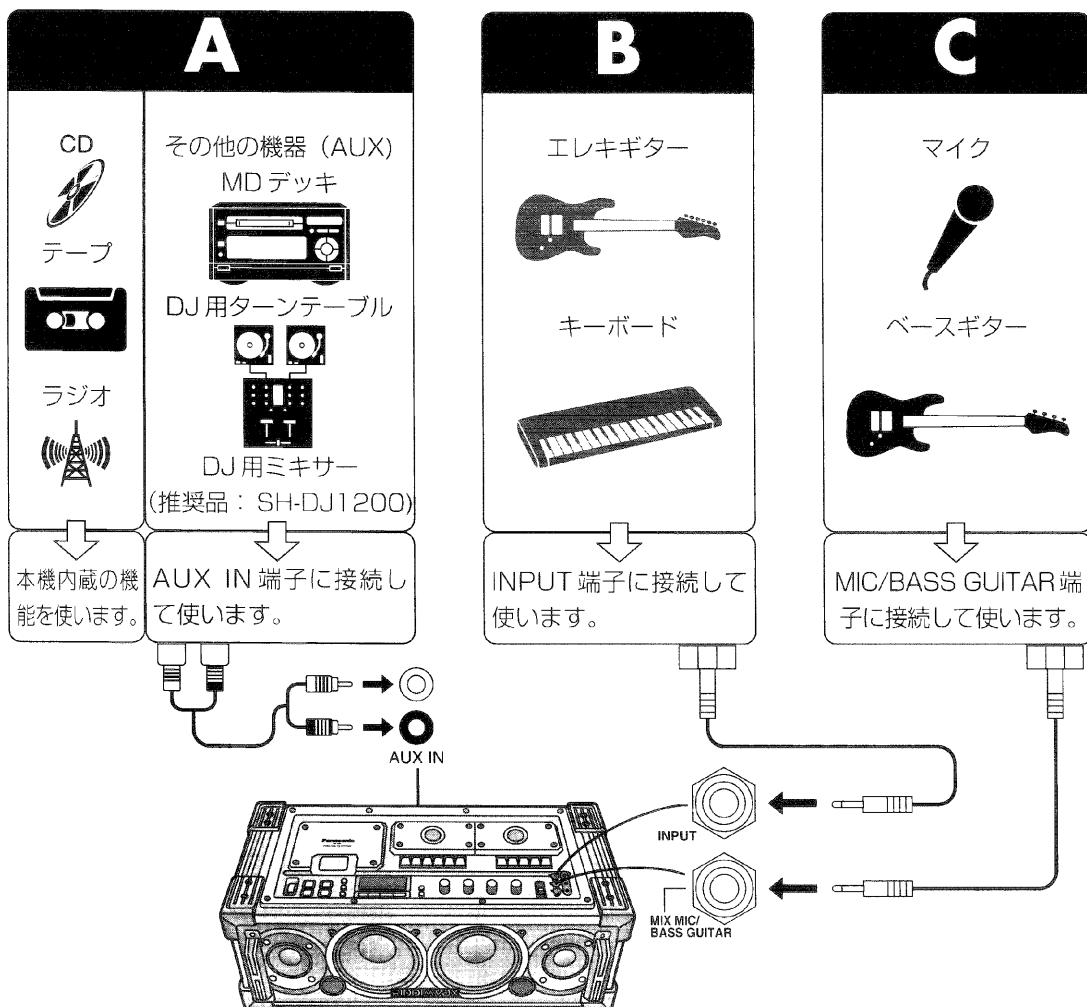
ミキシングの組み合わせ

- A、B、Cの中から、それぞれ1種類ずつ音源を選んで組み合わせることができます。（合計36パターン）
- A、B、Cの枠の中の音源同志を組み合わせることはできません。

ミキシング時の音量・音質の調整

下の表にしたがって、各音源の音量・音質を調整してください。

音源	音量・音質を調整するために使用する箇所
A・B・C全体	本機の［VOLUME］・［BASS］・［TREBLE］
B	エレキギター・キーボード本体の音量調整つまみ
C	本機の［MIC BASS GUITAR］ （ベースギターは、それ本体の音量調整つまみでも調整できます。）

- **Aの音源とB・Cの音源をミキシングするとき**
  1. まず、本機の［VOLUME］・［BASS］・［TREBLE］でAの音量・音質を調整する
  2. B・Cの音量を調整する

その他の機能

ミキシングをする

こんな使いかたができます

カラオケをする A

カラオケのテープやCDに合わせて、マイクで歌えます。

1. **マイクを接続する（18ページ）**
2. **カラオケのテープまたはCDを演奏し、その演奏に合わせてマイクで歌う**

お知らせ

音声多重のテープやCDを使っても、歌手の声を消すことはできません。

エレキギターで同じフレーズをくり返し練習する（A-B リピート） B

CDに合わせて、エレキギターを弾く練習をしているとき、苦手なフレーズだけを重点的にくり返し練習できます。

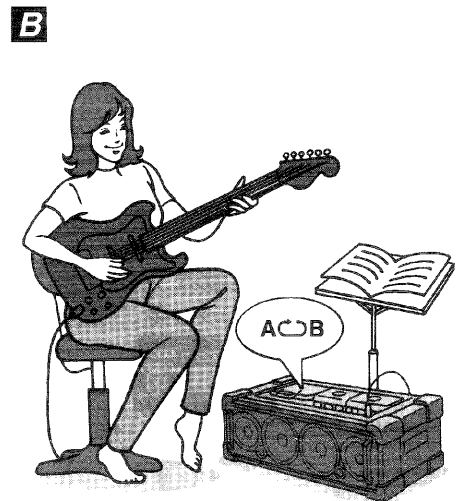
1. **エレキギター（19ページ）を接続する**
2. **CDの曲の中から練習したいフレーズを、A-Bリピート演奏する（13ページ）**
3. **CDの演奏に合わせてエレキギターを演奏する**

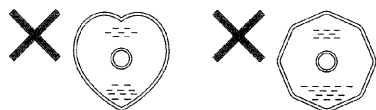
自分の演奏を録音してデモテープを作る C

テープに合わせてエレキギターとベースギターを弾き、その音を録音する。

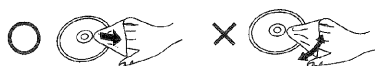
1. **エレキギター（19ページ）とベースギター（18ページ）を接続する**
2. **デッキ1に録音用テープを入れ［● REC］を押す**
   デッキ1の［▶ PLAY］も押し込まれます。
   録音が始まります。
3. **デッキ2に再生用テープを入れ［▶ PLAY］を押す**
   デッキ2の再生が始まります。
4. **テープの再生にあわせてエレキギターとベースギターを弾く**

ミキシング機能は、他にもいろいろな使いかたができます。あなたの工夫でさらにクリエイティブな使いかたを見つけてください。

A
B
C

CDについて

COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものをご使用ください。ただし、ハート型や八角形など、特殊形状のCD は演奏できない場合があります。また、演奏できる場合でも連続してご使用になると、機器の故障の原因となります。

持ち方

汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。

露がついたら

急に暖かい部屋に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた布でふいてください。

取扱上のお願い

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 紙やシールを貼らない。(セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとのあるものは使わないでください。)
- 傷付き防止用のプロテクターなど当社指定外の市販品は使わない。

保管しておくとき

次のような場所はさけてください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接当たるところ

テープについて

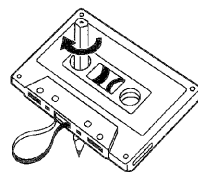
100分を超えるテープについて

長時間の使用には便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどをくり返すと、テープが回転部分に巻き込まれることがありますので、ご注意ください。

エンドレステープについて

使用方法を誤るとテープが回転部分に巻き込まれます。必ず、テープについている使用説明をお読みください。

テープのたるみは巻きとっておいてください

テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。

録音したテープを誤って消さないために

もう一度録音するには

セロハンテープなどを貼る

保管しておくとき

次のような場所はさけてください。

- 直射日光の当たるところ
- 高温(35 ℃以上)高湿(80% 以上)のところ
- 磁気のあるところ(スピーカーの近くやテレビの上など)

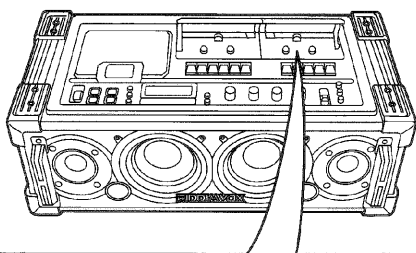
お手入れ

本体が汚れたら

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきをしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 科学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

テープをよい音でお楽しみいただくために

ヘッドなどのテープが触れる部分（下図の ）をときどきふくことをおすすめします。

推奨品：クリーニングキット
（品番： RP-919、別売り）

CD レンズのお手入れ

レンズに付着したほこりや指紋による音飛びを防ぐために、定期的なお手入れをおすすめします。

推奨品： CD レンズクリーナー
（品番： RP-CL510、別売り）

著作権について

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎（03）3502-6551
北海道支部	☎（011）221-5088
盛岡支部	☎（0196）52-3201
仙台支部	☎（022）264-2266
大宮支部	☎（048）643-5461
東京支部	☎（03）3562-4455
西東京支部	☎（03）3232-8301
東京イベント コンサート支部	☎（03）5286-1671
立川支部	☎（0425）29-1500
横浜支部	☎（045）662-6551
静岡支部	☎（054）254-2621
中部支部	☎（052）583-7590
北陸支部	☎（0762）21-3602
京都支部	☎（075）251-0134
大阪支部	☎（06）244-0351
大阪北支部	☎（06）244-7077
神戸支部	☎（078）322-0561
中国支部	☎（082）249-6362
四国支部	☎（0878）21-9191
九州支部	☎（092）441-2285
鹿児島支部	☎（0992）24-6211
那覇支部	☎（098）863-1228

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

黒丸の数字は、各参照ページを表します。

	こんなときは	ここをご確認ください	処置
CD部	"E" が表示された。	誤った操作をしていませんか。	説明書を読んで操作し直す。
CD部	演奏が始まらない。 曲数などの表示が出ない。	CD が表裏逆に入っていませんか。	文字のある面を上にして入れる。⓫
CD部		寒いところから急に暖かいところに持ってきたなど、急激な温度変化がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約 1 時間待ってから使用する。
CD部	特定の個所が正しく演奏されない。	CD が汚れていませんか。	柔らかい布でふく。㉓
CD部		CD に傷がありませんか。	CD を取り換える。
テープ部	録音できない。	テープのつめを折っていませんか。	折った部分にセロハンテープを貼る。㉓
テープ部	雑音が多い。 音質がよくない。	ヘッドが汚れていませんか。	カセットデッキ内部を手入れする。㉔
ラジオ部	雑音が多く、うまく選局できない。	アンテナの向きなどが悪くありませんか。	アンテナを調整してみる。❽
ラジオ部	雑音が入る。	他の機器のリモコンを近くで使っていませんか。	他の機器のリモコンを離す。
ラジオ部		テレビと同時に使用していませんか。	テレビから離す。またはテレビの電源を切る。
ラジオ部	AM 放送が受信できない。	周波数が 10 kHz ステップになっていませんか。 ([FM/AM] が何らかの原因で押し続けられたとき、AM の周波数が 9 kHz ステップから 10 kHz ステップに切り換わることがあります。)	周波数を、9 kHz ステップにする。 "FM" 表示中に、[FM/AM] を押し続ける（約 10 秒間） ●AM の周波数表示が約 10 秒間点滅し、9 kHz ステップに切り換わり、点滅が止まります。 ●切り替えると、AM の記憶させた放送局は消えます。
電子楽器部	キーボードの音が大きすぎる。 ギターの音が小さすぎる。	演奏モードが間違っていませんか。	正しい演奏モードに切り換える。⓳
電子楽器部	楽器の音が出ない	楽器本体の音量が最小になっていませんか。	楽器本体の音量を調整する

保証とアフターサービス

（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品でお困りの場合は…

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

修理を依頼されるとき

25ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、RX-PA7 の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後６年です。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料　は、診断・故障個所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です
- 部品代　は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料　は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客様ご相談センター

0120-878-365（バナは 365日）

フリーダイヤル（料金無料）

365日／受付9時～20時

International Customer Care Center
海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)

海外仕様商品（輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品）についてのご相談は....

TOKYO	☎ (03)3256-5444
OSAKA	☎ (06)645-8787

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0597

修理ご相談窓口

北海道地区

札幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭川	☎(0166)31-6151	旭川市2条通21丁目左1号
帯広	☎(0155)33-8477	帯広市西19条南1丁目7-11
函館	☎(0138)53-7107	函館市山の手1丁目1-15

東北地区

青森	☎(0177)39-9712	青森市大字八ッ役字矢作1-37
秋田	☎(0188)26-1600	秋田市御所野湯本2丁目1-2
岩手	☎(0196)39-5120	盛岡市羽場13地割30-3
宮城	☎(022)375-2512	仙台市泉区市名坂字清水端59-2
山形	☎(0236)41-8100	山形市流通センター3丁目12-2
福島	☎(0243)34-1301	福島県安達郡本宮町字南ノ内65

首都圏地区

栃木	☎(028)632-8450	宇都宮市中央1丁目8-13
群馬	☎(0273)52-1217	高崎市萩原町沖中205-18
両毛	☎(0276)25-6870	太田市東新町244-1
水戸	☎(029)225-0119	水戸市柳河町309-2
つくば	☎(0298)55-7860	つくば市梅園2丁目1-13
埼玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
千葉	☎(043)251-3537	千葉市稲毛区園生町369-1
船橋	☎(047)334-5111	船橋市本中山6丁目11-7
柏	☎(0471)63-8905	柏市北柏1丁目6-6
東京	☎(03)5477-9780	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
山梨	☎(0552)22-5171	甲府市下飯田2丁目1-27
神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
新潟	☎(025)286-0171	新潟市東明1丁目8-14
佐渡	☎(0259)23-2898	両津市秋津字境108-1
長岡	☎(0258)28-2111	長岡市寺島町308-12
上越	☎(0255)44-6871	上越市大字藤野新田字大割353-3

中部地区

石川	☎(0762)94-2683	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80
富山	☎(0764)32-8705	富山市寺島1298
福井	☎(0776)54-5606	福井市開発4丁目112
長野	☎(0263)58-0073	松本市大字笹賀7600-7
静岡	☎(054)287-9000	静岡市西島765
名古屋	☎(052)614-3136	名古屋市南区西又兵衛町3丁目48
岡崎	☎(0564)55-5719	岡崎市岡町南久保28
岐阜	☎(058)323-6010	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30
高山	☎(0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
三重	☎(0592)55-1380	久居市森町字北谷1920-3

近畿地区

滋賀	☎(0775)82-5021	守山市勝部町260
京都	☎(075)672-9636	京都市南区上鳥羽石橋町20-1
大阪	☎(06)359-6225	大阪市北区本庄西1丁目1-7
奈良	☎(07435)9-2770	大和郡山市椎木町404-2
和歌山	☎(0734)75-1311	和歌山市中島499-1
兵庫	☎(078)272-6645	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6

中国地区

鳥取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松江	☎(0852)23-1128	松江市西津田2丁目10-19
出雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡山	☎(086)292-1162	岡山県都窪郡早島町矢尾807
広島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音8丁目13-20
山口	☎(0839)86-4050	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23

四国地区

香川	☎(0878)74-6200	香川県綾歌郡国分寺町新名663-1
徳島	☎(0886)98-1125	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108
高知	☎(0888)66-3142	南国市岡豊町中島331-1
愛媛	☎(089)971-2144	松山市土居田町750-2

九州地区

福岡	☎(092)593-9036	春日市春日公園3丁目48
佐賀	☎(0952)26-9151	佐賀市本庄町大字本庄896-2
長崎	☎(0958)30-1658	長崎市東町1949-1
大分	☎(0975)56-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮崎	☎(0985)85-6530	宮崎県宮崎郡清武町下加納336-2
熊本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
天草	☎(0969)22-3125	本渡市港町18-11
鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目7-36
大島	☎(0997)53-5101	名瀬市矢之脇町10-15

沖縄地区

沖縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

主な仕様

ラジオ部

受信周波数
　FM ： 76.0－108.0 MHz (TV；1ch-3ch)
　AM ： 522－1629 kHz
　(9 kHz ステップ)

テープレコーダー部

トラック方式　ステレオ
録音方式　交流バイアス
消去方式　交流消去
モニター方式　バリアブルサウンドモニター
周波数範囲
　ノーマルポジション： 30－16000 Hz

CD プレーヤー部

標本化周波数　44.1 kHz
復号化　16 ビット直線
光源　半導体レーザー（波長 780 nm）
チャンネル数　2 チャンネルステレオ
ワウ・フラッター　測定限界以下
DA コンバーター　MASH ※（1 ビット DAC）

共通部

スピーカー
　スーパーウーハー　12 cm 丸形 5.4 Ω 2 個
　フルレンジ　8 cm 丸形 5.4 Ω 2 個
実用最大出力（AC100 V 時）
　スーパーウーハー　15 W+15 W（EIAJ）
　フルレンジ　12.5 W+12.5 W（EIAJ）
出力端子
　PHONES　ステレオ（M 6）
　LINE OUT　ステレオ（RCA ピンプラグ）
入力端子
　MIX MIC　モノラル（M 6）
　AUX IN　ステレオ（RCA ピンプラグ）
　INPUT　モノラル（M 6）
電源
　電灯線　AC 100 V
　50/60 Hz
　カー電源アダプター　DC12－13.2 V
消費電力　AC 58 W
最大外形寸法（幅×高さ×奥行）
　574 × 204 × 360 mm
質量　約 11.5 Kg

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

※ MASH は NTT の登録商標です

電源スイッチ「切」時の消費電力約 6.9 W（AC のとき）

愛情点検

長年ご使用のパーソナル PA システムの点検を！

こんな症状はありませんか

・煙が出たり、異常なにおいや音がする
・音が出ないことがある
・正常に動作しないことがある
・商品に破損した部分がある
・その他の異常や故障がある

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎（　　）　－	お買い上げ日	年　月　日
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－	品番	RX-PA7

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部
〒571　大阪府門真市松生町 1 番 4 号

RQT4184-2S
F0997Z2097 (D)